

2021年4月15日

課題名：幽門側胃切除後の尾側膵切除の安全性に関する検討

◆研究の目的と概要◆

幽門側胃切除後の患者さんに対して尾側膵切除術（膵体尾部切除および膵尾部切除）を行うと、膵切除に伴って残胃の血流が低下し、残胃炎や残胃潰瘍、胃内容停滞などの術後合併症が発症することがあります。

本研究では幽門側胃切除後の患者さんに対する尾側膵切除術の安全性に影響をおよぼす因子を解明し、安全な周術期管理及び外科療法の改善に役立てることを目的とし、国内の日本膵切研究会参加施設にアンケート調査を行い、後方視的に解析します。

◆対象となる患者さん◆

2009年1月から、2019年12月までの間に、幽門側胃切除術の既往があり、かつその後膵疾患にて尾側膵切除術が施行された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長、体重、既往歴、幽門側胃切除術の情報（術式・原疾患・手術日）などの患者さんの背景情報。血液検査結果や画像診断所見、手術所見、術後臨床経過、病理組織学的診断、再発の有無などの周術期、術後の情報。

◆研究方法◆

上記情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して郵送で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

島根大学医学部消化器・総合外科学 田島義証医師が主体となって実施しております。

主体のホームページ <https://rinken.shimane-u-tiken.jp/people/2075>

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 北川 裕久

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明